

## 【県立丹波の森公苑】のサウンディング調査実施結果

## 1 参加事業者数 4者

## 2 サウンディング調査結果の概要

サウンディング調査において、参加事業者からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。

施設の魅力・可能性について
①多種多様な施設を有し、幅広い提案が可能な点と他府県からのアクセスの良さに魅力を感じた。
②本館に向かう芝生の園路などのロケーションに魅力的を感じた。
③屋外の空間が広い点に魅力を感じた。
④スポーツ施設、ホールや自然など関連する施設を運営しているので自社ノウハウの活用が可能な点に魅力を感じた。
自主事業・収益性について
①芝生広場を活用したドッグイベントや、里山スクエアの SNS 向け活用方法が考えられる。
②広い屋外空間を活かして、地域産業と連携したイベントの実施などが考えられる。
③本館前や芝生広場が広い点のため、大規模なイベントの実施が考えられる。
④現状、飲食を行うところがないので、軽食の提供も可能だと考えられる。
指定管理業務について
①シューベルティアードたんばの事務局運営等は人件費等の費用をきちんと措置していたのであれば、実施可能。
②公募前に指定管理外事業の整理（費用面等を含む）をきちんとしておいていただきたい。加えて過去の収支実績資料を公募時に提示いただきたい。
③指定管理外事業に区分される事業であっても、似たような事業を実施し、重複することを避けるため、募集要項上は参考として記載いただきたい。
④人件費等の費用をきちんと措置していただかないと、指定管理外事業を引き継ぐことは不可能。
⑤現在、指定管理外となっている事業を指定管理事業へ過度に転換することは事業者の足かせとなり、民間の参入は厳しくなる。
応募条件等について
①公募期間2ヶ月の中で、できる限り質問までは早急の実施いただき、質問回答から応募締切まで1ヶ月確保いただけるとより詳細な分析・提案を行う事が可能。

## その他

- ①ホールの維持管理に関して、外部に全てを委託するのではなく、基本的な点検等はスタッフが対応し、専門的な部分は委託という形にすることによってコスト削減を図ることも可能。
- ②ホールの維持管理に関しては、規模・利用状況を見た上で、委託か専門職員を雇うかを判断することになると思う。
- ③現地説明会で、施設見学後に質問時間を設けていただけるとその後の質問期間もスムーズになると思う。

担当者：県民生活部県民躍動課 清水  
T E L : 078-362-3894  
メール kenminseikatsu@pref.hyogo.lg.jp